

駒澤大学図書館蔵書の逸品

企画展 『源氏物語』

注釈書に見る 享受のあゆみ

2024 6.10 [Mon] ~ 7.30 [Tue]

駒澤大学禅文化歴史博物館

住所：〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1-23-1

電話：03-3418-9610

開館日：月～金・第3土 10:00～16:30

休館日：土・日・祝 その他大学の定める休業日

後援：世田谷区教育委員会



ウェブサイト
はこちら

上・左下／絵入おさな源氏
右下／湖月抄



企画展

『源氏物語』

注釈書に見る享受のあゆみ

『源氏物語』は、11世紀初頭に成立した、王朝文学を代表する長編小説です。紫式部により、54帖が編まれたとされ、現在まで色あせることなく親しまれています。成立から百年ほど経た平安末期にはすでに古典化し、言葉遣いや社会・生活文化の変化にともない、原文をそのまま理解することは困難となっていました。とくに作中に登場する約500名もの人物と、795首を数える和歌の理解は読者にとって煩雑で、これらに考証や難読語の解説をほどこす注釈書の必要性を促しました。さらに当初は、貴族や公家層の中で読まれていて、現在のように私たちが簡便に享受・受容できるようになるまでには、長い時間を要しました。今回の企画展では、江戸時代を中心に、本学図書館所蔵の『源氏物語』の注釈書に注目し、その展開と享受の歴史を紹介していきます。現在においても不朽の古典である『源氏物語』が広まっていく過程をご覧いただければ幸いです。

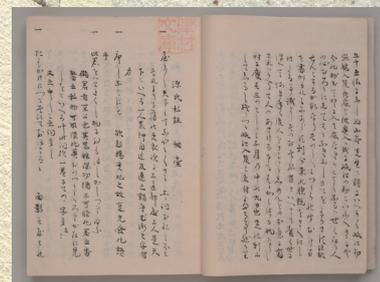


絵入おさな源氏



源氏物語（絵入無刊記版小本）

江戸時代に普及した『源氏物語』の典型的な絵入り版本



岷江入楚

中世の『源氏物語』注釈書の集大成



首書源氏物語

『源氏物語』に初めて頭注を付した注釈書



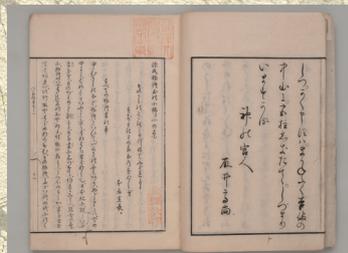
湖月抄

本文・傍注・頭注を同時に見ることができる画期的な注釈書



源氏物語玉の小櫛

国学者本居宣長が「もののあはれ」から『源氏物語』を注釈



同時開催中（どちらも7/30（火）まで）

常設展示室

複製プロジェクト完結

『正法眼蔵嗣書』の成立～草案本と修訂本～

大学史展示室

特集展 27 新収蔵速報展「駒澤大学校歌草稿」

駒澤大学禅文化歴史博物館

後援：世田谷区教育委員会

住所：〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1-23-1

電話：03-3418-9610

開館日時：月～金・第3土 10:00～16:30

休館：土・日・祝 その他大学の定める休業日

アクセス：東急田園都市線「駒沢大学」駅徒歩10分



ウェブサイト
はこちら

